

## 【タイマー・補助員】※TO席の

- ・各クォーターの8分間（高校・一般は10分間）と休憩時間（1・2クォーター間と3・4クォーター間は2分、ハーフタイムは10分）をはかる。
- ・次の時にブザーを鳴らして時間の経過を知らせる。
  - ※ 第1クォーター開始3分前と1分30秒前
  - ※ 第2クォーター開始30秒前
  - ※ 第3クォーター開始3分前と1分30秒前
  - ※ 第4クォーター開始30秒前
- ・各クォーターや延長の前の休憩時間の計測が終わり、各クォーターが始まる前に、合図器具を鳴らす。
- ・審判の笛が鳴ったらゲームクロックを止める。（ゲームクロックを止めている間は手を上げて周囲に分かるようにする）
- ・スローインの時には、スローインされたボールがコート内の選手に触れた瞬間にゲームクロックを動かし始める。
- ・タイムアウトの60秒をストップウォッチではかる。50秒経過したら合図を鳴らし、60秒経過したらもう一度合図をならす。（2回目の合図が鳴るまでゲームは再開されない。）
- ・第4クォーター及び延長戦で残り2分を切ったら、シュートが入った時に審判の笛が無くてもゲームクロックを止める（審判は時計を止める合図を出す）。
- ・ポジションの表示器具を操作する。オルタネイティングポジションルールによるスローインになった場合には、そのスローインが終わってから表示器具を逆方向に示す。
- ・ポジションの表示器具は、前半が終了したら矢印の向きを変えておく。
- ・タイムアウトと交代を、合図器具を鳴らし、合図を出して審判に知らせる。
- ・ファウルがあった時は、審判がファウルをテーブルに伝達し終わってから合図器具を鳴らす。
- ・タイムアウトやクォーター間の休みの時に交代の申し出があった場合には、出場選手の番号を確認するだけで、合図器具は鳴らさない。（連盟HP資料より）

### 【指導にあたって】

- 各クォーター間のブザーを確認しておく。
- 時間が止まっている間は、しっかりと手をまっすぐ上にあげ、「時間を止めていること」を伝える。
- 「時間を流す、止める」事が第一優先であり、点数の処理（デジタイマーを使用している場合）はゆっくりあわてず行うようにする。
- タイムアウト、交代の合図は、正しく、見やすく、大きな声で行うようにしたい。（例）「（合図）タイムアウト、白！」タイムアウトの手の合図は、裏面に記載。
- タイムアウト、交代ができる状況を確認しておく。（裏面に記載）特に、4クォーター残り2分の取り扱いについて。
- 間違ふことは誰でもあります。しかし、不安に思い、間違えをそのまま流すことのないように指導をしましょう。間違えた場合は、審判に知らせる勇気を持ちたいですね。

### 【メモ欄】

【タイムアウト・交代の取り扱いについて】

状 況	タイムアウト	交代
ファウル	○	○
ジャンプボールシチュエーション	○	○
バイオレーションで自チームのスローイン	○	○
バイオレーションで相手チームのスローイン	○	○
最後のフリースローが成功した時	○	○
アンスポ・テクニカルのフリースローの後	○	○
シュートを入れられて自チームのスローイン	○	×(※1)
シュートを入れて相手チームのスローイン	×	×